



# 録音ルポ

## “ひろらえん”

Dさん  
いよいよ、二人連れの人  
生の並木道ですね。目下、  
此の世がバラ色に見えるこ  
とでしょう。まことにおめ  
でようございます。  
きよりの佳き日に先輩と  
して一言述べられるのはほ  
んとに光榮です。私は嬉し  
く、楽しくここに立つた次  
第です。  
しかしつまらん長話を聞  
かされる皆さんは、嬉しい  
どころか苦しいことでは  
しょう。そこで提案します。  
いつも私たち仲間、ガ  
ヤガヤやる工合に、皆がひ  
とことづつしやべる「話し  
合いテープルスピーチ」と  
いこうじやありませんか。  
(ハチ、ハチ、ハチ)

### 文化祭

#### 俳句

中里村公民館選  
日俳中里支部選

◇一般の部◇  
天 通り山 上原チヨノ  
人工の星飛びしとか木犀句  
う 桂 山本 ケン  
刈り取りて化粧する手の分  
厚くて  
人 如來寺 池田龍太郎  
遠足のやがて紅葉の果てに  
消ゆ  
五客 通り山 上原チヨノ

だから、サンマの干物でお  
茶漬サーサラの味気ない  
生活をしています。生活と  
は、食うねる所にすむ所、  
春夏秋冬きまるものを働いて  
得る中に在ると思ひます。  
なんといつても生活の根  
本はここです。二人者の充  
實した温い生活に、時々よ  
ばれて行きたい。これは感  
想。(笑聲)  
B Aさんのおつしやつ  
たように、根本は、衣食住  
の物質生活でしょう。けれ  
ど、物を得て使うために働  
くこと、それだけが生活で  
はないと思うのです。「二  
人で助け合つて生きて行  
く」嬉しいことばかりでな  
い。(拍手)  
C A君、Bさんの説に  
つけ加えて、人間論をやり  
ます。二人の生活は、お互  
いに責任を持ち合うべきで  
しょうが、「君は僕のもの  
あなたは私のもの」では開  
きです。やはり一人づつ  
人間として、獨立した精神  
を持つて生きるべきだと思  
う。人間は社会的な存在で  
す。夫は妻をいたわり、  
妻は夫に従いてえ……それ  
だけでなく、家庭という足  
場を育てる中で一個の人間  
として認め合ひよう自分  
の成長を考えたとい僕は思  
っています。  
(二人うなずく)  
「生活とは何か、三人の方  
が充分に語つて下さつたよ  
うです。では「どうあるべ  
きか」の實際問題について  
願ひましよう。  
E 私には「どうあるべ  
きか」を述べる権利があり  
ません。お二人でこれから  
築く姿を参考に、私も  
やがて實地に研究努力した  
いと思つております(拍手)  
成ほど「どうあるべきか」  
は、二人の生活の中で具体  
的に答えて置く問題でした  
ね。私もそれぞれ自分で  
實際に生きて、答を出しま  
しよう。  
F 私に一つ云わせて下  
さい。どんな役割でも、小  
さな仕事でも、人の役に立  
つことなら値打ちがある。  
この仕事を忘れずに、よき  
夫、よき妻として、仕事に  
お勤み下さるよう祈りま  
す。漬菜の切り方一つにも  
愛情のこもるチエと手がい  
るんです。つまり藝術なの  
です。  
生活とは、藝術であるとい  
う。ほんとにそうかもしれ  
ません。難しい根拠のいる  
一生かけての仕事です。

【穀類の部】  
金賞 倉俣 桑原 龜平  
銀賞 田代 桑原 秀信  
東田澤 村山 章  
【根菜の部】  
小原新田大島 金作  
堀之内 南雲 海造  
通り山 樋口 巡一  
幸川 高橋 文雄  
高橋 昭一  
如來寺 富井 嘉市  
池田 喜茂  
【果實の部】  
金賞 桂 山本 芳治  
銀賞 上山 上原善五郎  
小原 広田 繁雄  
田村 忠蔵  
【種畜畜産の部】  
金賞 通り山 樋口 定一  
銀賞 樋口 努

農林産物品評会  
入賞者  
【種畜畜産の部】  
例年賀ハガキは各種機關  
部活の区長等を通じ予約を  
とり、賣られてきたが、今  
年は予約賣出しは原則とし  
て行わず、全部本日から窓  
口で賣出されることになつ  
た。



新館民衆村公所  
行村公所  
発里村公所  
中里印町新開社  
十

## こども協同組合 表彰さる

田澤小学校こども共同組  
合は昭和二十三年開設以  
來、村農業協同組合指導の  
もとに貯蓄の仕事を教育の  
一環と考へ、無理のない自  
主的な活動を続け、教育面  
に多大の効果をあげて來  
た。特に本年度からは貯蓄  
部をクラブ活動の中に取り  
入れ、營業日は事務を取扱  
うだけでなく、指導主任瀧澤  
先生を中心に村農協職員  
出張を得て経営に調査に、  
研究に毎回反省し工夫しつ  
つ貯蓄活動に努力を續けて  
きた。  
そのかいあつて、兼ねて  
優良校として候補に擧げら  
れてきたところ、今回昭和  
三十二年度全国優良子ども  
銀行として、農協関係八百  
七十九校の中から、六こども  
協同組合が地方表彰と決定  
され、その中に田澤小學



### こども協同組合

窓口に列をつくつて順番を待つ子供たち

## 写真展入賞者

本館主催の文化祭におけ  
る写真展については、十日  
町市の青山立介氏が審査に  
あたり、次の通り入選を決  
定当日公民館長より賞状及  
び賞品がおくられた。  
◇推せん「夕日」(山崎)武田  
茂

## 田沢中て校歌つくる

田沢中學校の生徒會では  
かつて修学旅行に際し、バ  
スガイドさんから「サア今  
度はみんな元気で校歌を歌  
つてみて下さい」といわれ  
たが、ないものは歌えず  
ンとしてしまった。それ  
以後何んとかして校歌をつ  
くりたいと生徒會で相談の  
結果、これはPTAや篤志  
家から金を出してもらうこ  
とでなく、あくまで自らの  
額に汗した勤勞収入でまか  
なおうではないかと、一寸  
無暴に近い計画が決議され  
た。それは校歌の作詞作曲  
には相当な資金がいるから  
である。  
ところが決議をすると同  
時に年度の終りであつたが  
會費を節約し、剰余金二万  
圓を生み出し、本年度は全  
員が夏休みを返上して薬草  
採取を行い、こゝに希望の  
校歌が誕生したのである。  
作詞は新瀉縣議會議員の  
市川俊雄先生に、作曲は學  
習院大學教授小出浩平先生

## 発表会来る二十日

で、兩先生ともこの生徒の  
態度に深く感激、快よくお  
引受けになり、市川先生に  
は発表会当日特別出席、記  
念講演をする予定である。

◇作詞次のとおり  
田澤中學校校歌  
朝苗場の峰高く  
光希望の色に映え  
夕清津の星影は  
心をうつすすががみ  
流れつぎせぬ信江に  
深き想をいたしつ、  
岸邊に立てばうるわしき  
不撓の曲は耳をつく  
嵐を凌ぎ雪に堪え  
草木も萌えてさみどりの  
妻有平野に春は呼ぶ  
あゝ、愛の園 田沢校

## 昭和31年度決算

### 残金132万9千円

昭和三十二年 度の決算につい ては、村議會の 承認を得ていな いが、去日監査 委員會の厳密な 審査を経、歳 入三千四百八十 二萬三千八百八 十圓、歳出三千 三百四十九萬一 千三百八十四圓で、残り三 十二萬八千六百五十四圓は 三十二年度に繰越す。	決算概要は次の通り。
△歳入	△歳出
村税一八、六二四、八五二	一、四七七、八九〇
交付税 一一、四四八、〇〇〇	二、四二四、四七二
使用料、手数料 一、二二一、五六〇	一、四八、〇九〇
国庫支出金(補助金) 六、三九六、二七〇	一、七二三、五九〇
	四、一一、五八〇
	三、一〇、二六六
	一、三六、五〇四
	一、五五、四八二
	五、三九、三〇七
	九、四〇、三八六
	三、三二、三八六
	六、七六、三七〇
	一、一四、四八九
	三、三二、七七三
	八、九、五二五
	一、四九、九五〇
	九〇七、七〇六
	六、三九六、二七〇

# 不良天候下に導いた豊作

## 進歩した科学技術

### 稲作反省

本年の豪雪は近年稀であり昭和年代第三位と云はれる。従って播種期が平年に比し十五日もおそく、又昨年より十二日も遅かった。梅雨期や七月の続いた低温八月のフェン現象(高温)の數日、九月の低温等全く異常な天候であった。昔から「年のとり」の凶年といはれてきたように昨年同様不良天候に襲はれて昭和二十八年のような冷害を予想されたのであったが、豊作に導くことのできたのは全く進歩した科学技術の勝利であつて他の何ものでもない。そこで豊作に導いた稲作経過のあらましを、ここで述べて見たい。

一、改良苗代で育苗し早植が行はれた。

改良苗代である保温及び簡易折衷、畑ビニール、ビニールハウス、備芽各苗代等が昨年の約二倍取り入れられ、健苗の育成が行はれた。早植と関連のある自動耕機が多量導入利用され、更に早花の効果も認識されて豪雪ではあつたが農作業の進歩をはかり、昨年より三

四日早植となつた。本年早植の効果の著つた年はない。早植によつて高温時に生育生長を行はしめ穂数に増進と稔實の向上もよつて増収し品質の向上も認められた。又苗代期のみ天候順調であつたため病虫害被害を被らず苗不足もなかつた。

二、稲根が健全であつた。

凶作型の短稈多莖に経過した低温の七、八月(中旬迄)は高温障害である根腐の発生もなく、どんく、新根が深層に伸びて肥料分を吸収した。特に八月中旬末フェン現象も三、四日続いたが、一般に八月は夜間低温であつたため根腐障害を引き起さず例年見られる胡麻葉枯病等秋落の症状が少く、全般的に鮮麗な熟色を呈するようになった。

三、病虫害防除が完璧であつた。

本村では昨年の約倍農薬を使用し農薬製作とささいはれてゐる。今年位病虫害の発生による防除を行つた年はないといはれる。多量に用いたのは何といつてもイモチ病で葉イモチは六十%の耕地に発生を見、圃場に菌

の生棲密度が高くなり穂頭に移行の懸念があつたので、イモチ病の特効薬であるセレン石炭等の水銀粉剤の一齊共同防除を部落毎に實行極めて大きい効果を挙げた。二化蠅(心虫)は特異の発生で養蠅のピーク(山)が田植後の一化期に二回あつて、BHCやパラチオン剤の撤布は一回では効果が少ない地帯もあつた。出穂前後の二化期は喰入場所が株際で稲の茎の太さが太いことや、其の他で防除効果が薄らなかつた

ようである。ウシカはいたる処発生は認められたが、防除をしなければならぬ。其の他例年激発する紋枯病や粒腐病、青虫、泥負虫、カラバエ等予想外に発生少く経過した。

その他早期に第一回除草がかなり行はれ生育が促進されたことを見逃すわけには行かない。總じて稲作期間中低温であつたが一般に粒揃や稔實よく豊作であるが、早生は出穂十五、十六日前の花粉母細胞減数分裂期と出穂十八、二十三日前

## たくあん漬のコツ

また漬物を漬こむ季節が来ました。

榮養がないといつても、日本人の食生活には欠かすことのできないもののように、どこの家でも用意する。

さておいしい漬物といふのは香りをよくしてくる酵母と、味をよくしてくる乳酸菌が適当に繁殖しやすいうちにしてやり、酵母と乳酸菌を食べて漬物を美味しくする腐敗菌の繁殖を防ぐような漬方をさばせることがコツである。

この邊では普通練馬、宮重ダイコンが多く使われているが、まずダイコンの葉をおとし尾の細い部分やヒゲ根をとつてきれいに洗ふ。

次に十本位づつナワであんで連にし、陽あたりのよい場所ですす。乾燥期間中に凍らせたり、雨や夜露にあてないよう夜はムシロなどをかける。

干し上り程度や塩の配合は食用期によりちがうが、四斗ダルの十六貫のダイコンを漬こむものとして

一月、二月頃までに食べられるものは生干といつてダイコンがやわらかになつてゐるが、弓形に曲げられる位に干したものに塩二升、二升五合、コヌカ七升から八升のワリにする。

三月から四月ころまでのものは、弓形か、中干といつて丸く曲げられる程度のものに、塩三升、三升五合、コヌカ七升。

五月、六月頃までのものは中干をつかつて塩五升、コヌカ五升。

七月から八月以後に食べるものは上干といつて、ダイコンが結べる程度に干上げたものに塩五升、六升、

コヌカをおなじ割合にして漬こむ。

樽は前もつて水モレ等をしらべ、きれいに洗つてカゲ干しておく、ダイコンを漬こむとき底塩といつて樽の底にひとにぎりの荒塩を平らにふりこみ、干葉をしきつめた上にダイコンを高くなくきつちりならべ、塩ヌカ(あらかじめ塩とヌカをまぜておく)をふり入れ、これ交互にくりかえして全部漬けこんだら上に干葉をならべフタをして重石をのせる。

(高井技師)

重石は水の上るまではダイコンと同じ重さのものをのせ、水が上つてきたら八割位の重さにしたほうがよい。

干葉はダイコンの間につけこみ、こまかにきざんで漬物としても、味噌汁の身にしてもおいしい。

カキの葉、皮、ナスのへたなど使う場合は粉にして塩、ヌカにまぜて使うとよいのである。

またタクアンの色づけに使われているオーラムは不良色素の代表的なものであるから、絶対使わないようにされた。

# 遺伝について (二)

上村病院長 上村正子

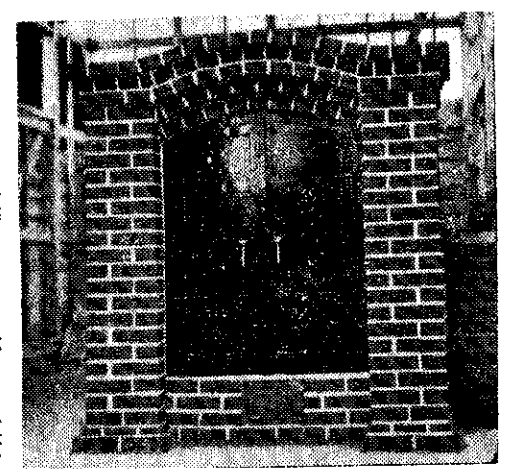
(6) 結核と瘡と遺伝

結核は結核菌によつて起る傳染病であることは元々周知の事であるが、遺傳病ではあつて犯され易い人と、犯されにくい人のある事も確かな事で、従つて結核素質の遺傳と云ふ事だけは認めなければならぬと思ふ。

又瘡に就いても其の原因については色々説はありますが、結核と同じように瘡になり易い素質即ち、その素質は遺傳的のものであると云ふことも、一つの家系に何人も瘡が出ていると云ふ事實から認めねばならぬと思ふ。

### (7) 癩と梅毒と遺伝

癩は天刑病と云つて、昔から非常に恐ろしい遺傳病として忌避されて來ました。然し一八六八年にハンゼン氏に依つて癩菌が発見されてから今日では傳染病として誰も疑う人は無いと思ふますが、癩血統と誤られた理由は、この病気が家族的に現れたり、時には二、三代前の祖先にあつた



如来寺の火葬場

如来寺落ではこのほど予算約四十万円を投じて立寝棺兼用の蓋を備へ近代的な火葬場を新設した。

のが子孫に突然現われたりすることがしばしばあるからであります。

これはらい菌は長年月潜伏している性質があつて、一度だけでなく數回侵入する

療によつて、患まれた環境の許に療養させているので現在の全国らい患者數は一五、〇〇〇人であるが、他国から患者が侵入して來ない限り、五十年後には日本のらい患者は一人も居なくなる計算となつてゐます。

梅毒もスピロヘータ・パリーダと云ふ菌によつて起る傳染病であつて、生れな

ることによつて發病するものである爲であります。

只、結核と同じように、らいそのものは遺傳しないとしても、此の菌に犯され易い體質の遺傳と云ふ事は考えなければならぬと思ふます。

然しこのらいは、国家で莫大な費用をつかつて、特殊部落、特殊施設、特殊治

をなす等、間接の害も非常に多く、精神病家系や、犯罪家系の調査に常に強醉者が現われる事によつても明らかであります。

そして飲酒癖が、遺傳的のものである事は明らかであります。その遺傳様式がどんなものであるかははつきりわかりませんが、又銘酒中に出來た子供が劣等であるとする確証も無いが、優秀であるという証明もありません。

そして飲酒中受胎した子供が劣等でないといふ事實も無いことであるから、酒の身体に及ぼす害を考へて銘酒中の受胎は避けたい方が安全であると思ふます。

(9) 血液型と遺伝

甲の血液と乙の血液をまぜると同まつて來ます。

然し之は二人の血液を一緒にすれば必ず固まるのではなく血液には凝集元A、Bと凝集素a、bがあり、それの混合の具合によつて、ある場合は固まり、ある場合は此の凝集元と凝集素の分布状態によつて、血液型をA型、B型、O型、A、B型の四種にわけます。

この血液型でも一定の法則(メンデル)によつて遺傳されるものであります。血液型に關する親子關係

親の血液型	子供の血液型
O × O	O
O × A	O, A
O × B	O, B
O × AB	A, B
A × A	A, O
A × B	O, A, B, AB
A × AB	A, B, AB
B × B	B, O
B × AB	A, B, AB
AB × AB	A, B, AB

(10) 血族結婚について

血族結婚が人生に如何なる影響を及ぼすかは古くから注目され、血族結婚を續ける時は、子孫に體質の虚弱な者を出し、生産力減退を生じ、往々不具者、畸型児等を生じ、人類發達上非常に有害不利な影響を及ぼすものと信じられ、成るべく之を避けるようになされ、特に最近青年子女の方々は非常に血族結婚をきらう傾向になつて來てゐます。

しかし血族結婚の結果が不良となるか否かは其の家系中に流れる遺傳質の良、不良の如何により決定されるものであります。

故に双方の家系中に病的素質を含む人は血族結婚は避けたい方が安全である。